

- 問1 現在の福岡県太宰府市周辺には、土を高く盛って作られた巨大な壁と、その外側に水を蓄えた堀の遺構が残っています。この施設が築かれた歴史的背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. モンゴル帝国（元）の軍隊が九州へ上陸するのを阻止するため、博多湾の沿岸に沿って石造りの壁が築かれた。
  2. 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。
  3. 卑弥呼が治める邪馬台国の集落を、周囲の敵対する勢力から守るために深い溝と柵が作られた。
  4. 豊臣秀吉が朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）を行う際、九州北部の拠点を防衛するために築かれた。
- 問2 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物群を持つ、奈良県に位置する寺院はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 東大寺
  2. 興福寺
  3. 延暦寺
  4. 法隆寺
- 問3 明治新政府が中央集権体制を確立する過程で行った政策のうち、1871年に藩を廃止して府・県を置き、中央政府が任命した官吏（知事・県令）を各地に派遣して、全国を直接支配しようとした出来事を何と呼びますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 廃藩置県
  2. 版籍奉還
  3. 公地公民制
  4. 地租改正
- 問4 日本の歴史上の人物とその活躍した時代について述べた文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 鑑真は平安時代に唐から日本に渡り、正しい仏教の教えを伝えた。
  2. 平清盛は鎌倉時代に武士として初めて太政大臣となり、日宋貿易を進めた。
  3. 豊臣秀吉は江戸時代に全国を統一し、太閤検地や刀狩を行った。
  4. 聖徳太子は飛鳥時代に摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
- 問5 701年に制定され、唐の制度を模範として天皇を中心とした中央集権的な政治体制の基礎を確立した法典は何ですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 大宝律令
  2. 養老律令
  3. 御成敗式目
  4. 十七条の憲法
- 問6 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）が制定したもので、天皇の命令（詔）に従うことや、仏教（三宝）を敬うことなど、役人としての心得を説いたものは何か。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 十七条の憲法
  2. 大宝律令
  3. 御成敗式目
  4. 班田収授法
- 問7 飛鳥・奈良時代に行われた遣隋使や遣唐使の派遣に関連して、当時の外交や国内政策の状況を正しく説明しているものはどれか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 全国的な戸籍を作成して土地と人民を直接支配するため、中国の徴税制度をそのまま模倣して実施した。
  2. 遣隋使の派遣によって得た技術を用い、聖武天皇が全国に国分寺を建てて社会の混乱を鎮めようとした。
  3. 菅原道真の建議によって遣唐使を停止するまで、日本は一貫して中国に対して臣下の礼をとり続けた。
  4. 小野妹子などの使節を派遣し、大陸の進んだ制度を吸収して国家の仕組みを整えようとした。
- 問8 天武天皇が進めた政策のうち、国家の正当性を示し、天皇の権威を強化する目的で行われた事業として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。
  2. 仏教の力で国家の混乱を鎮めるため、東大寺の大仏造立や全国への国分寺建立を命じた。
  3. 新しい政治の形を整えるため、唐の長安をモデルとした平城京への遷都を断行した。
  4. 律令制度を完成させるため、日本で最初の本格的な法律である大宝律令を制定した。
- 問9 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は天皇中心の国づくりを進めるため、当時中国を統一していた隋に使節を派遣しました。この使節の代表として大陸へ渡り、進んだ制度や文化を日本に持ち帰る役割を担った人物は誰ですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
1. 鑑真
  2. 中大兄皇子
  3. 空海
  4. 小野妹子
- 問10 飛鳥時代に聖徳太子が定めた十七条の憲法では、役人が守るべき心得が示されています。この憲法において、人々が争いをやめ協力し合うための「和」の精神とともに、篤く敬うべきものとして挙げられている「三宝（さんぼう）」の具体的な内容はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
1. 儒教・仏教・道教
  2. 礼・義・信
  3. 仏（ほとけ）・法（みのり）・僧（ほうし）
  4. 天皇・和・詔（みことりの）
- 問11 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みずき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 高麗
  2. 百済
  3. 新羅
  4. 渤海
- 問12 645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振っていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 足利尊氏
  2. 中大兄皇子
  3. 大海人皇子
  4. 聖徳太子
- 問13 聖徳太子が「冠位十二階」を制定した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 仏教を国家の宗教として定め、僧侶に政治を管理させるため
  2. 氏姓制度を強化し、代々特定の家系が役職を独占できるようにするため
  3. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用するため
  4. 全国の土地と人民を直接支配する公地公民の制を確立するため
- 問14 663年、倭（日本）は滅亡した友好国を復興させるため、朝鮮半島の白村江へ大規模な水軍を送りました。この戦いにおいて、日本・百済遺臣の連合軍が対戦した相手となる2つの国の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 隋と新羅
  2. 唐と新羅
  3. 唐と高句麗
  4. 元と高麗
- 問15 飛鳥時代、中国や朝鮮半島から大陸の文化や制度が伝えられる中で導入された「冠位十二階」について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 特定の有力な豪族だけに、代々高い位を保障するため
  2. 仏教の教えを広めることで、国を平和に導くため
  3. 地方の土地や人民を、すべて天皇が直接支配するため
  4. 家柄にとらわれず、有能な人材を役人として採用するため

## 答え合わせ・解説

|     |                                                            |                                                                                                                                                                                                             |
|-----|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 2<br>百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。 | 7世紀、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を拡大し、倭と親交のあった百済を滅ぼしました。倭は百済復興のために軍を派遣しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。これにより本土への侵攻を恐れた天智天皇（中大兄皇子）は、大宰府を守るための「水城」や、西日本の各地に「朝鮮式山城」と呼ばれる城を築き、国防を急ぎ整えました。選択肢にある「防塁」は鎌倉時代の元寇に対する備えであり、時代背景が異なります。 |
| 問2  | 答え 4<br>法隆寺                                                | 聖徳太子が建立したと伝えられる法隆寺は、1993年に「法隆寺地域の仏教建造物」として、日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。その西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初めにかけて再建されたものと考えられていますが、世界で最も古い木造建築として非常に高い歴史的価値を持っています。                                                             |
| 問3  | 答え 1<br>廃藩置県                                               | 明治新政府は、まず1869年の「版籍奉還」で大名に土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させましたが、旧藩主がそのまま知藩事として統治を続けたため、中央集権化は不十分でした。そこで1871年に「廃藩置県」を断行し、軍事力と行政権を完全に中央政府へ掌握させることで、全国を直接支配する体制を完成させました。公地公民制は古代律令国家の原則であり、地租改正は税制の改革を指します。                   |
| 問4  | 答え 4<br>聖徳太子は飛鳥時代に摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。                  | 聖徳太子は飛鳥時代に推古天皇の摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定しました。鑑真が来日したのは奈良時代です。平清盛が太政大臣となったのは平安時代末期となります。豊臣秀吉が全国を統一したのは安土桃山時代です。                                                                                                  |
| 問5  | 答え 1<br>大宝律令                                               | 唐の「律（刑罰規定）」と「令（行政規定）」を参考にして、日本で初めて本格的に整備された律令です。この法典の完成により、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則に基づいた律令国家の仕組みが形作られました。                                                                                                   |
| 問6  | 答え 1<br>十七条の憲法                                             | この法令は604年に制定された。第一条で「和を以て貴しとなす」と述べ、話し合いによる解決を重視しているほか、天皇中心の政治を目指して役人の道德的規範を示したものである。班田収授法は土地制度、律令は刑法・行政法、御成敗式目は鎌倉時代の武士の法律である。                                                                               |
| 問7  | 答え 4<br>小野妹子などの使節を派遣し、大陸の進んだ制度を吸収して国家の仕組みを整えようとした。         | 遣隋使や遣唐使は、高度な文明を持っていた中国から法律、官僚制度、仏教などの文化を吸収するために組織されました。聖武天皇による東大寺の大仏建立や国分寺の建立は奈良時代の中期であり、遣隋使の開始時期とは異なります。また、全国的な戸籍作成（庚午年籍など）は国内統治の進展を示すものですが、使節派遣の直接的な目的そのものではありません。                                        |
| 問8  | 答え 1<br>国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。            | 天武天皇は、壬申の乱を経て確立した自らの政権の正統性を国内外に示すため、国家の歴史編纂を命じました。これが後に『古事記』や『日本書紀』として完成します。また、この時期に「天皇」という称号や「日本」という国号が本格的に使われ始めたと考えられており、これらは中央集権体制を象徴する重要な動きとなりました。                                                      |
| 問9  | 答え 4<br>小野妹子                                               | 聖徳太子は、当時の先進国であった隋の優れた政治体制や仏教文化を取り入れることで、日本の国家としての地位を高めようとしてしました。小野妹子はその代表的な使節（遣隋使）として抜擢され、対等な外交を目指す国書を携えて海を渡りました。これにより、後の大化の改新などにつながる重要な知識や技術が日本にもたらされました。                                                  |
| 問10 | 答え 3<br>仏（ほとけ）・法（みのり）・僧（ほうし）                               | 十七条の憲法は、豪族たちが争うのをやめ、天皇を中心とした国家体制を整えることを目的として制定されました。第二条に記された「三宝」とは、仏教の根本である「仏（ブツダ）」「法（教え）」「僧（集団）」を指します。聖徳太子は、これらを敬うことが正しい政治や道德の基盤になると考え、仏教の教えを政治に取り入れました。                                                   |
| 問11 | 答え 2<br>百済                                                 | 663年の白村江の戦いで日本（倭）と百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に敗北した後、日本は大陸からの報復的な侵攻を恐れて国防を強化しました。この際、日本に亡命してきた百済の人々が持つ高度な技術が、水城や大野城といった堅固な防御施設の築城に活用されました。                                                                               |
| 問12 | 答え 2<br>中大兄皇子                                              | 唐（中国）の制度に習い、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指して行われた改革が大化の改新です。中大兄皇子は蘇我入鹿らを排除することで、有力豪族による政治から、天皇が直接統治する仕組みへと転換を図りました。                                                                                                    |
| 問13 | 答え 3<br>家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用するため                    | それまでは家柄によって政治的な地位が決まる氏姓制度が中心でしたが、聖徳太子は個人の能力や手柄に応じて12段階の冠位を授ける制度を導入しました。これにより、天皇に忠実で有能な人材を政治の中枢に集め、中央集権的な国家体制を強化しようと試みました。                                                                                   |
| 問14 | 答え 2<br>唐と新羅                                               | 6世紀から7世紀の朝鮮半島では、高句麗・百済・新羅の3国が対立していました。新羅は中国の唐と結んで660年に百済を滅ぼし、その後、日本は百済の復興を支援するために出兵しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。元と高麗の組み合わせは13世紀の元寇（文永・弘安の役）の際の説明です。                                                         |
| 問15 | 答え 4<br>家柄にとらわれず、有能な人材を役人として採用するため                         | 当時の日本は、大陸の進んだ文化を取り入れながら、天皇を中心とする国づくりを急いでいました。そのためには、世襲によって地位が決まる古い氏姓制度から脱却し、能力のある人物を政治の担い手として確保する必要がありました。この制度の背景には、同時期の食文化と同様に、大陸との活発な交流が影響しています。                                                          |